



はじめの一步

教室ブログ更新中(<http://onestep-mtj.com/>)

vol.119

子どもたち一人ひとりにストーリーがあります！

地域密着で教室を長くやっていると通ってくれている子どもたち一人ひとりに、ご家庭一つひとつに教室との関わりがありそれぞれにストーリーがあります。みんなに特別なことがある訳ではなく毎日・毎回の授業が積み重なってストーリーになっていきます。子どもたちの数だけあるそれぞれのストーリーを大切にしています。そんな教室と子どもたちやご家族のストーリーの一つを紹介します。お隣のお家のお話かもしれませんし、明日のあなたかもしれません。日々の教室での出来事は教室ブログにて紹介しております♪ [ブログはこちら](#)⇒



ごあいさつ

こんにちは！ONE STEPは個別指導の目標達成塾です。

未来を作る子どもたちが、自分自身の目標を持って前に進む姿を、保護者様と一緒に見守り、時に悩み、時に笑い、共に喜ぶ。心を寄せて子どもの成長を導いていくことが私たちの務めだと思っています。

教室を開校して14年が経ちおかげさまで、兄弟姉妹でお通いいただき、ご家族とも長いお付き合いをさせていただけるようになりました。これまでのたくさんのお出会いに感謝し、お礼の気持ちをこの地域に還元したいと、教育情報誌をお配りしております。小さい塾なので、大きなことはできませんが、小さなことこそ大切にしている地域に根差した個別指導型の学習塾です。

受験生って急になれるものなんですね☆

小学校から週2回コンスタントに通っていた子が、中3の1学期から毎日のように来るようになりました。確かテスト前だったと思います。それまではチャイムギリギリに来ていた子が、余裕を持ってくるようになったんです。「どうしたの？おうちの人に言われたの？」と尋ねた記憶があります。それくらいに急なことでした。

始めの頃は塾の宿題をするのが主でしたが、そのうち学校ワークを進めるようになりました。彼女の定位置はいつの日からか面談席の私の前でした。



3日会えないと「お久しぶり〜」な感覚に

テスト前は他にも自習に来ている子がいましたが、テストが終わると部活中心の生活に戻っていきま。しかし、彼女はテストが終わっても普通にやって来ました。そして、私と向き合う席に座って、すぐに勉強を開始します。夏期講習に入っても、ほぼ毎日同じ時間に、お弁当持参で来ていました。もちろん集中できない日もありましたが、それでも当たり前前に学校に行くように、当たり前前に教室に来ていました。毎日自習している彼女に刺激を受けた同級生、後輩がお弁当持参で来るようになりました。

「学年末は勉強しないでいいよね？」って言ったのに…

志望校が固まると、塾の宿題、学校ワークに加えて過去問に向き合う時間が増えました。この頃はさらにギアが上がって、これまでの取り組み方とは明らかに変わりました。合格ラインに届くまで、過去問と得点源になり得る数学の問題集を何周も繰り返し解いていました。日に日に取れる点数が上がっていくことが自信となり、受験前も心乱れることなく、彼女らしく本番を迎えられました。合格を勝ち取り、中学校生活最後のテスト。1年前は「中3の3学期のテストなんてもう勉強しないでいいよね？」なんて言っていましたが、たぶん誰よりも勉強していたんじゃないかな☆